



謹 賀 新 年

旧年中のご厚情に深謝申し上げます
皆様のご多幸をご祈念申し上げます

さて、日本の正月とは豊穰を司る歳神様をお迎えする行事であります。

その家の者は五穀豊穰を祈り、皆が元気で暮らせるよう歳神様をお迎えします。歳神様の目印の依り代として門松。しめ縄で聖なる空間。歳神様の魂が宿る鏡餅など、歳神様をお迎えするための準備を致します。

我々の先人たちは、全てのモノには命が宿り、作物と人間の生命体(魂)は一つのものであると考えていました。人の死後その魂は別の世界に行き、一定期間後にご先祖様(＝祖霊)になると信仰されてきました。

このご先祖様が春には山から「田の神」として、夏には家の守護「先祖」として、帰り、秋に山へ帰って「山の神」として、正月には一年を守護する「歳神」になって子孫の繁栄を見守ると伝わります。つまり、正月はお盆同様にご先祖様をおまつりする大切な行事です。しっかりとお勤めしたいです。

住職 清涼晃輝 合掌

平成三十年 年回表

一周忌	平成二十九年
三回忌	平成二十八年
七回忌	平成二十四年
十三回忌	平成十八年
十七回忌	平成十四年
二十三回忌	平成八年
二十五回忌	平成六年
二十七回忌	平成四年
三十三回忌	昭和六十一年
三十七回忌	昭和五十七年
四十三回忌	昭和五十一年
四十七回忌	昭和四十七年
五十回忌	昭和四十四年
百回忌	大正八年

今があるのは
ご先祖様のお陰

諸法無我しよほうむが

諸法無我しよほうむがとは、すべての「もの」は因縁いんねんにより生じ実態がない。ということなのです。

私という存在は、先祖や両親に、水や空気等の自然がなければ、私は生まれ成り立っていません。

例えば、私の先祖が食べた魚にも先祖がいます。魚はプランクトンや大自然の生命により成長して、魚の命は私の先祖の命として生かされ、私の命の要素となつています。このような様々な関わり合いの縁が繋がり結晶体となり私の存在があります。つまり私は私だけの「もの」では成り立ちません。

私は私の体でありながら、私の思い通りにはなりません。今の姿は一時的なもので常に変化しています。細胞は生滅を繰り返します。だから病気にもなります。回復することもあります。次第に老いて亡くなり自然に戻ります。身体だけでなく、色んな因縁（影響）で考へ方（心）も変化します。

他との関わりがないものを仏教では「我が」といいます。この世には縁のないもの、何一つ関わりのないもの「我が」はないから「無我むが」といいます。

私達は、人や動物、自然環境など他の「もの」と共に生きて、他に生かされながら、自分も他を生かしながら、私という存在が今あります。

ご縁を大切に生きたいものです。

澤ちゃんの仏教・仏事Q & A



お線香は何本供えるのか？

曹洞宗のお線香のお供えは基本一本です。姿勢を正し、一度額に頂き念じてから香炉の中心に真つ直ぐ立てお供え致します。僧侶が御供えする場合は「迎むかえ線香」と言い、その場を清浄にし仏様や導師を迎えるためにお線香を二本立てます。その後、導師が入りお線香一本を御供えして合計三本になります。但し、葬儀の時は亡き方が迷わないようにと思いを込め、迎い線香は立てずに一本をお供え致します。

形式にこだわりの過ぎない事。

- ① 全ての方に一本も良いです。
 - ② ご本尊様に一本、ご先祖様に一本。計二本でも良いです。
 - ③ ご本尊様に一本、ご先祖様に一本、命日の方へ一本。計三本でも良いです。
- 全員一本ずつでもよいです。立てすぎによる火災には注意です。

お線香の香りは、仏様やご先祖様のお食事とも言われますので、丁寧にお供えさせて頂く真心が大切です。お線香は香りを持続させるために作られたものです。御供えさせて頂く方を思い、あまり数にこだわらず、お気持ちをお大切にお線香をお供え頂く事がよいでしょう。

へ臨済宗・浄土宗・日蓮宗へ

お線香の本数は一本。

へ天台宗・真言宗へ

お線香の本数は、基本三本。

「三宝（佛法僧）」や「三世（過去・現在・未来）全てを大切にご供養するお作法です。

へ浄土真宗へ

基本一本。線香を立てずに香炉の幅に合わせて折り、自分から見て煙の出ている側を左にして香炉の中に寝かせてお供えします。

月の靈石

志賀 勝

古代の吉備は月を信仰する土地ではなかったかと想像してきます。「月の輪古墳」に残る「月の輪」という地域名はその手がかりになるもので、むかしの「岡山民俗」という雑誌によると、「月輪田」の神田をいとなんだ月信仰の証拠が岡山にはけっくうあるようです。

この雑誌から、苫田郡にあった「月影（つきかげ）石」の存在も知りました。今は行方不明になっていますが、高さ1,2メートルほどの小さな石で、白い輪の月影が刻印されていた石だったとされています。

同じタイプのを長野県佐久市望月で発見したことがあ

ります。円い輪っかが記されていて、こちらは「月輪（つきのわ）石」と呼ばれ伝承されてきたものでした。この望月で講演する機会があったので、「月の石」についていろいろ調べてみました。

もちろんこれはアポロが持ち帰ったという石ではなく、古来人びとが月の象徴として祀ってきた靈石のことです。石（岩）や樹木は、人類が習性として信仰してきた自然崇拜の対象です。私たちをはるかに超越した永遠性や生命力に人は畏敬の念をいだいてきたのです。身に宝石などを身につけている方はその感じがよくわかっていただけるでしょう。

樹木については、私たちの身近にあるケヤキが信仰の対象でした。ケヤキは古代には槻（つき）と呼ばれ月と同音でした。槻と月は同一視され、信仰の対象になっていたものです。各地に残っている月の石を

紹介しましょう。奈良の香具山は神話にも登場する有名な山ですが、この小山に「月の誕生石」として伝承されてきた大きな石が三つ存在しています。月が誕生した、とする説話で知られる石ですが、腹帯のように白い帯が特徴的に石に走っています。

京都府京田辺市には、月神が降りたつたとされる巨石が現存しています。やはり京都にある月読神社（松尾大社の摂社）には「月延（つきのべ）石」があり、妊婦さんが訪ねては撫でて安産を祈願しています。これら以外にも月の靈石はいくつも例をあげることができますが、他方人びとの記憶から失われた靈石もきつと数多いことでしょう。

安産を祈る月の石としては、オキナガタラシヒメの説話が有名で、ふたつの石を身につけて出産を無事果たしたとか。この女性には、海潮の千満を自由にできる潮満珠（しおみつたま）と潮干珠（しおひるたま）を

授けられていたといいますが、それはまさに海の潮をつかさどる月の化身。この話は今の福岡県でのことですが、その縁で福岡には妊婦さんが石を預かり、出産後に返却するという神社が今もあるそうです。

月は出産の無事を助けるもの、それが石として表現されているのはとても興味深い古くからの習俗です。全国の寺社にある安産石も、もともとは月信仰にもとづくものであった可能性が高いものです。そして月の石に代表される月に対する想いは、妊娠・出産以外にもさまざまな人間生活の願望、たとえば健やかな成長とか豊作、あるいは病かたの治癒、果ては再生への願いなど、生活全般にわたるものでもありました。

苫田郡の月影石はどこにいったのでしょうか？ 望月での月輪石発見のように、いつの日か再発見されるといいのですが。

檀信徒を訪ねて



朱印帳と旅の想いで

岸 章弘

私は、九月始めより少林寺護持会会長としてご指名を頂きましたが、会の運営につきましても経験不足な事から、皆様にご迷惑をお掛けする事があろうかと思っています。ご理解とご指導を頂きまして、会務に努めて参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、先日住職より会報の「少林寺たより澤龍」の原稿との事でありました。何をどの様にまとめたら良いものかと、頭を痛めていましたら、ある朝のこと。仏壇の前に座ったところ、爽やかな香りが漂っていました。どこからだろうかとか心静かに見ていると、仏壇の中に置いた二冊の朱印帳からのものでした。平成七年から集め始め、二冊とも中尊寺の金色堂から書いて頂き、参拝した数は社寺を合わせると百二十ヶ所を超えています。

京都の三千院や久世の毎来寺さんもあります。その中の一つに記憶を辿って見ますと「閑さや、岩にしみ入る、蟬の声」松尾芭蕉のあまりにも有名な一句を詠んだ山形県の山寺（立石寺）でしょう。観光で行った東北四大祭りの途中、山寺に寄りたく

てバスを降り向かいました。

すると、タクシーの運転手さんが「この近くに瀬戸内寂聴さんの庵がありますよ。二、三人なら案内してくださいますよ。」とのことで気変わりの早い私は早速に、それではお願いしますと寂聴さんの庵に向かいました。小高い丘の上までの細い道には、両手に竹の手摺りがあり、すぐに庵に着くことが出来ました。

半間ばかりの玄関には竹の花筒に季節の花が生けてあり、お付きの女性が深々と頭を下げられ、先生は京都のお寺に行かれており留守である事を告げられた。それから部屋の中を案内して頂きました。半間ばかりの廊下も竹を敷詰めてあり、お風呂やトイレも竹が敷かれていました。

こちらへどうぞと、案内された小さな庭から遠くに映えた山寺の輝きは、今でも私の心の中に一幅の涼として掛かっています。

新たに護持会会長に就任された岸章弘さんを訪問。檀信徒の皆様へそのお人柄がご紹介出来ればと思い、原稿をお願いしましたら快く受諾下さいました。みんなの少林寺。一緒によいお寺にしたいです。

(住職)

なむなむ のんのんさま

「子は宝」 うちのお宝を紹介

まきはらみのる
牧原実さん（畝西）

お孫さんたち
ひいおばあちゃん
三回忌法要に参列



まきはらひな
牧原陽菜ちゃん
もりむねこはる
森宗心晴ちゃん
まきはらあゆみ
牧原歩美ちゃん
まきはらゆうま
牧原悠真くん
まきはらそうま
牧原蒼真くん

ご意見、ご感想、投稿【募集中】

趣味、特技等の発表にお使い下さい

「檀信徒を訪ねて」「なむなむ のんのんさま」

出ませんか？ お気軽にお声かけ下さい

●孟蘭盆大施食会

八月十八日、孟蘭盆大施食会を約八十名のご焼香を頂き修行致しました。多聞寺ご住職(矢掛町)吉田有禪(米裕)師「お笑い説法」頂きましたので一部ご紹介いたします。



僕の落語の師匠へ桂米朝(に、(怒られて破門にされるくらい(覚悟で)出家すると言った時、「おもしろいやないかい」落語の中にはな。お坊さんが出てくる話がたくさんある。そのセリフは想像のセリフではない。あんな一生懸命修行して、ホンマモンの坊さんになってそのセリフに手を加える。したら、その想像のセリフがホンマモンの坊さんのセリフになるんや」こう言われました。

どこまでもはなしに対して真剣に取り組まれる方だなと思いました。私は震えました。泣き崩れました。それから楽屋で枝雀にざこばにも私は怒鳴られました。そういう行動をさせた事が非常に申し訳ないと思いました。枝雀は「君はね。誰がなんと言おうとも米朝一門として認めません。」と叫びました。それ位、

米朝崇拝であつた所へ僕がとんでもない石を投げてしまったですね。

しかし、僕が兄弟子に色々責められてる所へ、米朝が「お前ら何ゆうてんや。米裕のことはワシがゆるしたんや。」と言ったらシーンとする世界なのです。これが縦の世界。封建の世界です。私は生まれてこの方、ずっと縦社会におりました。噺家もお坊さんの世界も封建制度の世界です。

もっと自由がいいのだ。自由が欲しいと言われるけど、私は自由はいらん。何をしていいかわかりませんから。封建という所にいれば、自分の実力や立場によつて自分の立ち位置というのがわかるのです。ここにおれば失礼でない位置がわかるのですよ、自然と。そこにおられて頂いていることの安堵感。安らぎ。それを知っていますから僕は縦の社会がとっても好きです。この感覚と云うのは、弟子修行や縦社会で揉まれた方ではないとわからない何かがあるかもしれない。僕の話の聞いて



て頂いて、何という勝手な事をしてきた人間だと思ふかもしれません。勝手です。その勝手の中にも凄いことを学びました。人間は一人では生きていけないのだ。と言うことを学びました。色んな方のお力をかりて、色んな方のお言葉の後押しでもって僕が存在しているのだと。気付きました。だから感謝しありません。このように少林寺さんにお招きに預かりましたのも色んな縁を頂いてお声がけして頂いて、本当感謝でございます。

昔昔頂いたお言葉が死なないのだ。今も影響し続けているのだ。ということを感じて頂きました。現に過去により影響を及ぼして私の方向を決めて下さって何とかやらせて頂いております。しかし、その言葉が悪い言葉になる可能性があるのです。それはいつなのか。僕が本当に駄目になった時。どっちつかずになった時どうなりますか。言った人の立場になったらわかります。何であの時、止めなかったのだ。私があんなこと言ったがためにあの人えらいことになってしまった。そういう言葉になる可能性があるのです。

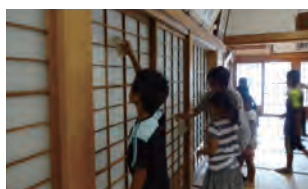
だから、今後その言葉達が僕にいい影響を及ぼし続け得るためには、僕の精進というものが欠かせないのだということ。最近気付かせて頂きました。

○あなたもお坊さんになりませんか？ ご興味のある方、少林寺住職までお問い合わせ下さい。

行事報告

● 禅道場体験

八月二十三日、第六回
禅道場体験が入門者五十八名、指導員十四名、スタッフ二十九名、総勢九十八名で、読経、坐禅、写経・写仏、法話、科学と木のおもちゃ体験（わくわく科学ランド・木のおもちゃの会）、素麺流し、掃除を暑さに負けず、皆で修行精進させて頂きました。

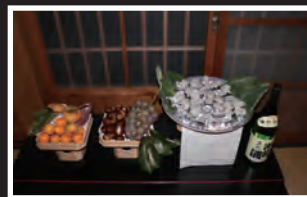
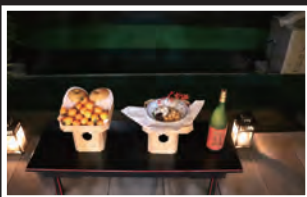




● お月見坐禅会

十月四日（月暦八月十五日）【中秋の名月】に五十六名（子供二十八名、大人二十八名）参集。まずは、お団子づくり（里芋団子、みたらし団子、きなこ団子）。次に、月光浴坐禅。そして、民話「へ田村洋子さん」①月の兎②何の巣③無筆の手紙を静かに聞き入っていました。最後に、お月見会。

皆で作ったお団子に、けんちん汁、栗おむすび等を頂きました。綺麗なお月見様を拝め、みんなでワイワイ月夜を楽しみました。



十一月一日（月暦九月十三日）【後の名月】に二十六名（子供十一名、大人十五名）が参集。まずは、お団子づくり（きなこ、あんこ、団子汁）次は、月光浴坐禅。そして、座談会。五目蒜山おこわ、団子汁、おでん、おひたし、お団子、柿、梨など皆で美味しく頂きました。

少し肌寒い中で背筋を伸ばし、月下で暫く心を落ち着けます。大地の恵みに感謝して、お月様へ御供えし、手を合わせました。

お陰様で中秋の名月、後の名月、両夜ともお天気に恵まれ綺麗なお月様を拝めました。

●清掃活動



秋彼岸前の九月十九日、雨樋、側溝、草取り等、護持会役員様のご協力を得て綺麗にして頂きました。

●護持会役員変更

五期二十年の長きにわたり、護持会会長を務めて頂きました福島鎮夫氏が体調不良のため辞意を表明され、総代会で協議した結果、以下の通り役員変更がありましたのでお知らせします。

〈護持会役員〉

●会長（総代長）

岸章弘

●副会長（総代）

高柳泰雄、片山勇、政安広規

●筆頭理事

原田泰、河原静嘉

楽万真一、山口訓秀

●理事

福島徹、福島収三、

保田長昭、國米道雄

●代表監事

西山哲也

●監事

實成喜久治、政安敏章、

澤田祐二

●協議員

牧原実、奥良文、政安眞守、

中島孝志、森健樹、福島康弘、

岡徳義、小林和徳、福島滋、

杉井勝行、永田千津子、

岡本福三、難波幸宏、

實成尚美、國米章次、

實成幸雄

（順不同敬称略）

●御詠歌研修会

六月十九日、御詠歌の特派講習会が祥雲寺様（真庭市）にて開催。小嶋弘道先生（茨城県）の講義は作州の講員四十名余（少林寺から十名）が参加し受講者は一日研鑽致しました。



十月三十日、岡山県奉詠大会が新見市哲多総合センターで開催。上本英昭先生（愛媛県）の講習は県内より約百八十名（少林寺から四名）が参加し、午前中は講習。午後から登壇し奉詠がありました。



●婦人会活動

○清掃活動

八月十八日

十二月十八日

中北下地区

中北上地区



お掃除後の一時

○八月十八日

孟蘭盆施食会 接客係

小林真佐子、此ひさ江、

河本和子

○八月二十三日

禅道場体験 スタッフ

小林真佐子、武村依子、

田丸ふじ江、國米まゆみ、

福島順子、

●特派布教講習会



十月二日、特派布教講習会が大林寺様（真庭市黒杭）で開催。高雲寺ご住職（米沢智秀）師（茨城県）が説教『同事行の実践』ともに歩みのちを生かし

あう生き方を今こそ」

自身のボランティア支援等の経験を基に、「一人一人の命が大切にされる社会の実現には、人間の尊厳を互いに尊重し支えあうこと。それには、経典へ修証義にある同事の実践を行うこと。他の悲しみ・苦しみを他人事とせず、受け止め支え合う。垣根を作らない事が大事なことです。」と九十分間有り難いお話を頂きました。参加者は岸章弘、高柳泰雄、片山勇、政安広規、住職。

●檀信徒研修会

十月二十五日、檀信徒研修会が高梁総合文化会館で開催。〈露の新治〉師匠による講演「新ちゃんのお笑い人権高座」

「笑う門には福来たる。」と申しますが、笑う門には福来てる。ですわ。」「人間は笑って笑顔で生きていくために生まれてきたのだな。改めて思っ頂きたいと思います。なぜならば、笑顔で生きていくことが人権を守ることです。笑顔が損なわれるということは全て人権侵害です。その最大最悪が戦争です。ちょっとした意地悪、嫌み、怪我、病氣、交通事故、ありとあらゆるものが笑顔の敵です。そういうものを全てを乗り越えて笑顔で生きていこうする。全ての人の笑顔を大事にしようとするのが基本的人権という考えです。」

参加者は岸章弘、高柳泰雄、片山勇、政安広規、住職。

●お寺でヨガ

毎月第一・三土曜日にヨガを開催。頭も身体も心もスッキリして気持ち良いと評判。



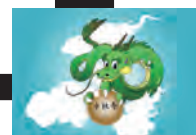
●寄進 石井昌子さん

「澤ちゃん」パッチワーク古着物を再利用



●寄進 太田徳子さん

観音堂と桜（油絵）



お 寺 で ヨ ガ



お寺の広くゆったりとした空間で、深い呼吸、ゆったりとした動きで、内なるエネルギーと美、自由な精神や充足感を高めて行きます。初心者やご年配の方でも安心して行えます。

【ヨガ講師：スカット☆リンダ】

アーティスト、ヨガ指導者。画家として活動しながら、フランス、インドネシア、岡山などでヨガを指導。現在岡山県美咲町のとても山奥の棚田 100 選で知られる大井和西に、ヨガとアートの空間「キッサコ（アート＆ヨガ道場喫茶去）」を構える。

<http://www.dojokissako.com/>

- ・日程 毎月 第1・第3土曜日 14:30 ～ 16:00
- ・持物 動きやすい服装、ヨガマット又はバスタオル、お茶又は水
- ・定員 5名～15名（予約制 先着順） ・料金 1,200円（回数券あります）
- ・ご予約は、前日までに「氏名・連絡先」をお知らせ下さい。
- ・少人数の場合は中止（ご連絡します）もございますのでご了承下さい。

<1月～6月予定> 1/20 2/3 2/17 3/3 3/17
4/7 4/21 5/5 5/19 6/2 6/16

修正会

元日～1/3（随時受付）

①11:00 ②14:00

厄払いなど新年のご祈祷します

総供養（先祖供養会）

3/21（水）

10:00 ～ 春彼岸先祖供養

10:30 ～ 12:00 講演 月のお話し

講師 志賀勝 先生 *本紙連載（3頁）

婦人会清掃活動

3/21（水） 8:00～ 坪井下地区

覚 禅 会

毎月第2土曜日（9:00～坐禅・行茶、10:00～写経）

<1月～6月の予定>

1/13 2/10 3/10 4/14 5/12 6/9

参加費無料。坐禅と写経の二部制です。一方の参加も可能です。

- ・足の不自由な方は、椅子に座り足を組まなくてもできます。
- ・写経は、椅子と机がございます。
- ・道具もあります。（使い慣れた道具があれば持参下さい）
- ・檀家、年齢性別は問いません。どなた様もお気軽にお越し下さい。
- ・団体の場合はご連絡下さい。個別の日程は要相談。
- ・個人、団体、企業など出張で坐禅会・写経会を致します。
- ・勝手ながら、急な日程変更もありますので事前にご確認頂ければ幸いです。



夜の坐禅会

2/15（木） 19:30 旧暦大晦日、釈尊命日

4/8（日） 19:30 釈尊降誕会（お釈迦様のお誕生日）

御詠歌 講員募集

毎月2回

1回 2時間(休憩有) 1,500円

講師 源福寺ご住職 小谷典尚 先生
ご見学ご自由にどうぞ。



お話し聞きます

悩んでいる方、落ち込んでいる方
寂しさを感じている方、つらい方、
私で宜しければ、
お話し聞かせて頂けませんか。
また、人生相談、仏事相談も
ご遠慮なく。 いつでも、どうぞ。
お気軽にご相談下さい。(住職)

☎0868-57-2303

☎080-6351-9686

info@shorinzenji.com

元日～3日	修正会
1/13 (土) 9:00	覚禅会
1/20 (土) 14:30	ヨガ
2/3 (土) 14:30	ヨガ
2/10 (土) 9:00	覚禅会
2/15 (木) 19:30	夜の坐禅会
2/17 (土) 14:30	ヨガ
2/25 (日) 14:00	永代供養墓説明会
3/3 (土) 14:30	ヨガ
3/10 (土) 9:00	覚禅会
3/17 (土) 14:30	ヨガ
3/21 (水) 8:00	婦人会 清掃活動(坪井下)
10:00	総供養(先祖供養会)
10:30	講演 志賀勝 先生
4/7 (土) 14:30	ヨガ
4/8 (日) 19:30	夜の坐禅会
4/14 (土) 9:00	覚禅会
4/21 (土) 14:30	ヨガ
5/5 (土) 14:30	ヨガ
5/12 (土) 9:00	覚禅会
5/19 (土) 14:30	ヨガ
6/2 (土) 14:30	ヨガ
6/9 (土) 9:00	覚禅会
6/16 (土) 14:30	ヨガ

住職のつぶやき

●「犬は三日の恩を三年忘れず」とは、人も恩を忘れないよう戒めた、ことわざ。イギリスでは、「子どもが生まれたら犬を飼いなさい。子どもが赤ん坊の時、子どもが幼少期の時、子どもの良き遊び相手となるでしょう。子どもが少年期の時、子どもの良き理解者となるでしょう。そして子どもが青年になった時、自らの死をもって子どもに命の尊さを教えるでしょう。」というらしい。実生活の体験でこそ学び成長することがある。当寺には「禅」という犬がいる。今年は戌年。もっと大切にしよう。

●当寺でヨガを開催している。坐禅とルーツが同様ということ、妻の熱意で始まった。これが実に気持ちよい。最初はスッキリしたくらいであったが、続けることが待ち遠しく楽しみになっている。先生が身体の仕組みなども説明されるので分かり易い。呼吸を意識しながら、ストレッチや体幹も鍛える。「無理をしないように。自分の気持ちいいなを感じて下さい」と言われる。ストレス解消になる。●当紙の写真を綺麗に撮るため、昨秋に初めて一眼レフカメラを購入。こんなに違うモノかと驚き、写真を撮るのが楽しくなった。人生、生きていけると不意に楽しいことがある。

【永代供養墓説明会】
2月25日（日）14:00～
どなたでも参加自由

永代供養墓完成

永代供養墓とは、跡継ぎがない方、身寄りのない方等に代わり、お寺（少林寺）が責任を持って永代に管理と供養を続けるお墓のことです。

1 あなたの故郷「少林寺」で安心して
ご先祖様の故郷、あなたの心の故郷「少林寺」に埋葬。
いつでもご自由にお参り出来ます。

2 選べる永代供養墓

- ① 集合墓（血縁関係を問わず悼石を集合）……………写真 **B**
- ② 合祀墓（血縁関係を問わず合同埋葬）……………写真 **A** 地下
- ③ 納骨墓（骨壺で納骨し一定期間後に合同埋葬）……………写真 **A** 地上
- ④ 家族墓（各家一基、個別の墓石下へ埋葬）……………写真 **C**

3 安心の生前申込
生前に永代供養墓の申込が出来ます。

4 墓地管理費は一切かかりません
初回の永代供養料納入後は、費用は要りません。

5 盆・春秋彼岸には墓前にて読経いたします
曹洞宗少林寺の教義で責任を持ってご供養させて頂きます。
檀信徒以外（宗旨・宗派が違う）の方もご相談下さい。



B



C



A

曹洞宗 澤龍山 少林寺

〒709-4606 岡山県津山市中北上 1150

●電話 0868-57-2303 ●住職電話 080-6351-9686

●メール info@shorinzenji.com

●ホームページ <http://www.shorinzenji.com>

●曹洞宗澤龍山少林寺フェイスブック <https://www.facebook.com/shorinzenji>

●晃輝和尚のブログ「覚禅堂」 <http://ameblo.jp/seiryō-koki/>



フェイスブック



ホームページ



ブログ